

沖縄戦について

古堅中学校 3年4組 伊波 和歌子

65年前、この沖縄で戦争がありました。私はまだ生まれてなくて、よく知らなかったけど、小学校のころに戦争のことについて、いろんな事を学びました。

一九四五年、四月一日、日本とアメリカの戦いが始まりました。アメリカ軍が沖縄のとぐちの浜に上陸してきた、こうげきを始めたのです。でも読谷村には、チビチリがマと

シムワがマの、2つのがマがありました。その2つのがマの中には、たくさんの人が避難していました。人々は、アメリカ兵にばれなように、隠れてすごしていました。でも、ある日、アメリカ兵にばれてしまいました。

がマの外から、アメリカ兵が、  
「ココロサナイ、デテキナサイ！」  
などと、がマの中の人に呼びかけたそうです。

でも、戦争があったころの教育は、アメリカ軍に殺されるくらいなら、自分達で死ん

だちがマシだ。というものだったので、チビチリがマにいた、たくさんの人は集団自決を  
してしまいました。

でも、シムクがマにいた人はみんな助かり  
ました。なぜなら、シムクがマの中に、ハワ  
イ帰りのおじさん2人が、いたからです。お  
じさん2人は、あの教育を受けていなかった  
し、英語もしゃべれたので、アメリカ兵に、  
「本当に殺さないか」を確認して、シムクが  
マの中にいた人みんなで、マから出て助か  
ることが出来ました。

戦争で、助かった人もいたけど、戦争がお  
こったせいで、たくさんの人が七くなつてし  
まいました。それに、家や自然も破壊された  
り、悪いことばかりでした。

だから私は、これからは絶対に戦争がおこ  
ってはいけな**い**と思います。戦争がおこつて  
も、なにも良いことはないし、それはわかりか  
悪いことがたくさんあるので、二度とおこつ  
てほしく**な**いのです。

これから、戦争がおこらないようにするた  
めに、自分達ができることは、いつでも人を  
想いやる心をもつことです。人を傷つけるこ  
とを言ったり、かんたんに「死ね」や「キモ  
イ」などといった、きたない言葉を使わない  
ようにしたりすることも、したいと私は思  
います。

このような事を、世界のみんながやれば、  
きっとこれからの世界は、戦争のない、平和  
な世界になっていくと思います。

私は、そんな世界になっ  
てほしいと、心か  
らそう思います。